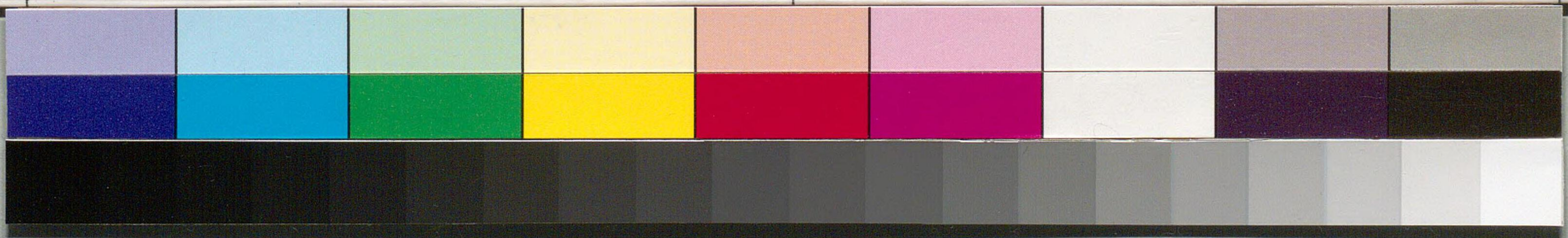
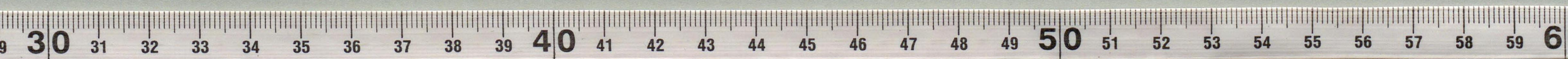


丁
上
書
案

後
天
象
宗
明
宗
三
年
春

睿聖文武皇帝陛下先帝幕府ノ政ヲ失フテ内憂外
患交ニ起リ我知日ニ危殆ナルヲ憂慮ニ赫然威怒ヲ奮
中興ノ業ヲ建テントニ時期未タ到ラス中道ニシテ外敵ニ終
ヒテ天下人民ノ痛悼挽歎スル所ナリ陛下先帝ノ威
志ヲ継キ天下敵愾ノ氣ヲ鼓シ内憂外患ヲ排除シ遂ニ維
新ノ事業ヲ成就シ以テ先帝在天ノ灵ニ報答シ給ヘリ
當時臣ノ不似ナルモ中興諸臣ノ後ニ從フテ國事ニ奔走
シ陛下ノ春寵ヲ蒙リテ切ニ大政ニ參シ身ヲ以テ之ニ酬
ユルヲ期セシニ且同僚ト意見ノ合ハサル有ルニ因リ
内閣ヲ退キ爾來臣何ニ在リテ國家内政外交ノ状勢

尾崎三良関係文書



ヲ觀察ニ宜シ痛歎ニ堪エサル者アリ陛下ノ為ナニ愚
衷ヲ述ニシト欲スル者幾回ナルヲ知ラザリシカ未タ時宜ヲ
得サルヲ以テ遷延ニテ今日ニ至レリ今ヤ外交ノ一大失策
已ニ発露シテ復タ隠蔽ス一カラス内憂外患方サニ目前
ニ迫レリ臣復タ熟クシテ國家ノ危難ヲ傍觀スル能ハ
ス因ツテ時事ノ最急ナル者ヲ陳述シテ以テ陛下乙夜ノ
覽ニ供セント欲スルナリ蓋シ近日内閣ノ内政外交ハ多
ク其目的ヲ誤リ全ク内外ノ信用ヲ失フニ至レリ臣今
必スモ一ク之レヲ舉クルナリ須ヒス獨リ今回條約改
正會議ノ始末ノ如キハ我日本帝國ノ独立ヲ妨害シ上ハ

陛下ノ威徳ヲ損シ下ハ人民ノ困難ヲ醸セシ了實ニ
鮮ガマラス然リ而シテ内閣大臣等ハ職ヲ辯シ罪ヲ謝スル
ナリ為サズ靦然トシテ政府ニ立ケ内外並ニ信用ヲキル身
ヲ以テ愈ヨ切迫シテ愈ヨ困難ナル内外事務ノ衝ニ
當ラシトス禍乱ノ機實ニ此ニ蘗芽セリ是レ臣ノ廉
慨流涕シテ陛下ニ告ケント欲スル所ノ一大要件ナ
リ立憲國ニ於テ大臣等ハ一ニ大臣ノ責ヲ負ハシテ其ノ
夫レ條約改正ハ現内閣ノ素ヨリ全カヲ出シテ經營セシ
所ニシテ陛下モ亦此ヲ以テ其能否ヲトスルナリ得
キナリ惟フニ大臣等其初當サニ陛下ニ告グルニ此

ヲ以テ我邦ノ独立ヲ維持シ我邦ノ名譽ヲ發揚スル
トテ以テシタルナルヘシ然而テ其結果タル外國全
權委員ノ為メニ要求セラレ遂ニ一國獨立ニ大損係ア
ル立法司法ノ二大權ヲ奪ケテ之ヲ外人ノ干渉ニ付ス
ルトテ承諾スルニ至レリ國ノ光榮ヲ虧キ民ノ損害ヲ
招クト之レヨリ甚クシキハ無レ然而テ大臣等ハ之ヲ
陛下ニ告ケス之ヲ人民ニ示サス一朝其會議ノ始末ヲ
知ル所ノ外臣ノ為メニ其失策ヲ指付セラレ之ニ因ニ
一二ノ異論ヲ騰クル者アリシカ為メニ急遽根柢シ
テ俄チニ會議ヲ中止セリ陛下ノ信用ニ負キ帝

國ノ体面ヲ汚ス丁一ニ此ニ至ル高キ何ヲ以テ外人ノ輕
蔑ヲ受ケサルヲ得シ哉蓋シ國家多事ノ際ニ在ラハ鞠
躬力ヲ盡ス者ト臣ハ或ハ時ニ錯誤ナキト能ハス而テ
事体ノ瑣少ニシテ且ク一時ノ誤ニ出ツル者ハ陛下固
ヨリ之ヲ寛容ス可ク内外國人モ固ヨリ之ヲ宥恕ス
可シ條約改正ノ如キニ至テハ果シテ瑣事ト謂フトテ得ハ
キ乎是レ直チニ國家安危興衰ノ機ノ決スル所ニ非ス
乎而テ今此ノ如シ内閣大臣タル者陛下ニ對シ人民ニ
對シ一日モ其職ニ在ルコトヲ得キニ非サルナリ然レ
然レ臣ノ視ル所ヲ以テスルニ内閣大臣カ此ノ如クニシ

テ國ノ大事ヲ誤リタルハ決シテ一時偶然ノ故ニ非ルナリ
近歲以來天下ニ表白シタル内政外交ノ狀況ヲ察ス
ルハ其漸ク以テ此レヲ馴致スルニ至リタルハ勢ノ已
クハカラサル所ナリ内閣大臣ノ内外ノ政策ニ於テ固
ヨリ一定ノ目的有ルヲ無ク事ヲ舉グル毎ニ事ヲ模稜
糊塗ヲ務メ外人ノ輕蔑ヲ招キ國民ノ憤怒ヲ起サ
サルハナシ然ラバ則チ條約改正ノ如キ重大ナル事件ニ至
リテハ固ヨリ現内閣大臣ノ能ク當ル所ニ非スシテ其着
ム敗ヲ取リシハ初メヨリ怪ムニ足ラスナルハ臣今試ニ
陛下ノ為メニ二三其最明白ナル事實ヲ舉ゲテ其

外交ニ在テハ前ニ朝鮮ノ事件ニ于テ清國ト競
争ヲ試シトシ一タニ小事ニ變ニ逢フニ及ビ遽ニ自ラ沮喪
レ朝鮮ヲ放棄シテ敢テ復タ與ハラズ清國ノ專横
跋扈ニ一任スルニ在リ遠大ノ計畫ナク反復姑息ノ
處置ヲ施シテ以テ隣國ノ輕侮ヲ招キシハ是レ其失
策ノ一ナリ弱小ノ邦ヲ以テ強大ノ國ト交ハルニハ往
來酬接ノ際及ビ自家經國ノ術並ニ一種出色ノ
處有リテ始テ自ラ樹立スルヲ得ルナリ若シ然ラ
ズレテ依倚齷齪以テ歲月ヲ玩過スルハ竟ニ自ラ
糜盡スルニ歸センナリ維新ノ初國家ノ政略ニ

茲ニ慮ル有リキ然ルニ内閣大臣ノ卑々トシテ專ラ一
ニ強國ニ諂諛シ其歡心ヲ買フヲ未ノ却ツテ其輕
蔑ヲ受ケシノミナラス因テ以テ他ノ列國ノ嗤笑ヲ招
キ外交ノ政ニ於テ異常ノ困難ヲ貽スニ至リシハ是レ其
失策ノ一ナリ其内政ニ在ツテ凡ソ内閣ノ處置ヲ誤
マリシ者ハ殆トト收斂スルニ違アラズ言論集會ノ規
律ヲ苛ニシテ憂國ノ志士ヲシテ内政外交ノ得失ヲ
論スルヲ得サレシメ上書請願ノ條例ヲ嚴ニシ
陛下ノ赤子ヲシテ意見ヲ九重ノ上ニ達スルヲ得ヤ
スレサルカ如ク正ニ夫人ノ機心論ニ決ス可シノ御誓

ニ背違スル者ニシテ今日天下有識ノ士ノ深ク憤慨
スル所ナリニ陛下聰睿固ヨリ已ニ之ヲ明知シ給フ
ハケレハ臣今一々縷述スルヲ須サルナリ財政ニ関
スル處置ノ如キニ至テハ決テ之ヲ黙クニ付ス可クサ
ル者アリ陛下明治十年ニ當リ人民ヲ休養スルノ
聖意ニ因リ詔ヲ下シテ地租ヲ減省シ給ヒシハ人民
今ニ至ルコトニ感德ヲ歌誦スル所ナリ其後民間生
活ノ狀況益々悲惨ノ境ニ沈淪スルヲ見ル而シテ
内閣大臣等ハ種々ノ口實ヲ設ケテ各種ノ租稅ヲ賦
課シ近ク數年ノ間ニ於テ殆トト二千一カ田額ヲ増加シ

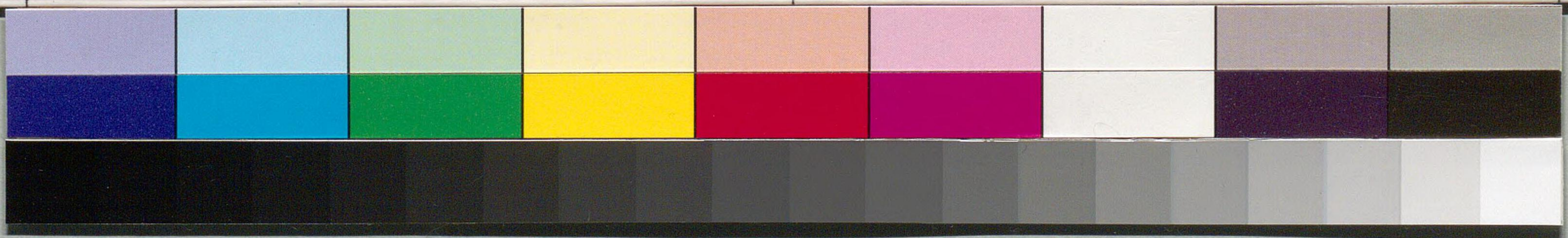
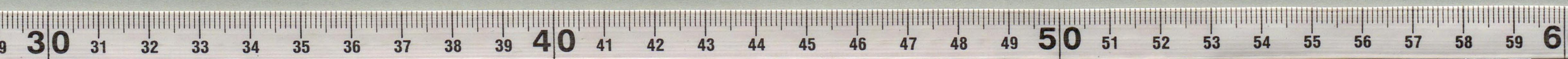


遂に陛下ノ赤子ヲシテ所謂公賣處分ニ過じ流
離困頓スル者年々十一ノ戸ニ下ラサラシムルニ至ル
陛下ノ聰明慈仁ナル必ス夙ニ洞知シテ深ク聖慮
ヲ惱マシ給フナラシ蓋シ今日宇内ノ大勢ヲ察スル中
海陸軍備ヲ擴張スルハ固ヨリ已ム可ラサル所ニシテ
一國ノ資力ヲ罄ケテ之ニ充ツルモ亦不可ナキナリ
顧テ内閣大臣ハ必ス此レヲ以テ口ニ藉キ以テ
陛下ニ上奏シテ租税ヲ増加スルノ政略ヲ斯行セシ
ナラシ然ルニ内閣大臣等ハ此租入ヲ以テ不急ノ土木
ヲ起シ無用ノ觀瞻ヲ張リ為メニ年々國庫ノ定額ヲ

告々年々租税ノ増加ヲ見ルニ至リ天下万民何ノ内
閣ノ處置ニ於テ憤怨セサルヲ得ヤ臣ノ尤ニ痛歎
ニ堪ハサル所ハ夫ノ国防費ノ献納ヲ以テ豪族ヲ誘
導セシ一事ナリ夫レ貴ヲ懸ケテ金ヲ募ルハ舊幕弊
政ノ一ナリ故ニ陛下ノ維新ノ初メニ於テ断然之ヲ禁止シ
給ヘリ蓋シ國家非常ノ難アリニ當リ人民ノ自ラ奮
フテ財ヲ政府ニ納ルハ其贊美スルキ一固ヨリ言
ヲ待メナルナリ夫人曰幕時ノ所謂御用金ト同一ノ
形ヲ呈スル者ニ至テハ假令ヒ強迫ノ迹ナキモ決シ
テ政事上適當ノ計ニ非スシテ要スルニ外人ノ為メ

ニ文運半開ヲ以テ侮蔑セラル、東洋諸國ニ行ハル
、所ノ者ノ故ニ近時歐洲文明ノ諸國ニ在テハ一
且冠嶺都城ニ逼ルニ至ルニ遭フモ此ノ如キ拙劣ナル
置ラ為スルハ決シテ無キ所ナリ然リ而テ今國家
無事ノ時ニ於テ此汚下策ヲ行テ國ノ体面ヲ傷
害スル之ヲ何カ謂ハシ且夫レ官宅ヲ營ニ宴
會ヲ盛ニスル等無用不急ノ用度ニ在テハ租稅
ヲ増加シ公然給テ國庫ニ取リテ憚ル所無クシテ
國ノ獨立ヲ固ムル所ノ正當ナル軍防費用ハ及テ以
テ非計ニ循テカ知キハ措置ノ際其顛倒錯乱セシ

了實ニ言フニ思ヒサル者ナリ謂フニ未也夫レ此ノ如クニ
シテ内閣大臣ノ其内外ノ政ニ於テ着々措置ヲ誤リ
タル所以ノ者ハ他ナシ素トヨリ大臣ノ器ニ非ズルニ既
ニ陛下ニ忠ナラス又國民ニ仁ナラス始息卑劣ノ
手段ニ因リテ專ラ身ヲ容レ位ヲ保ツテテ求ムル
致ス所ニシテ其條約改正ノ會議ニ於テ振振スル
能ハス諸強國委員ノ為メニ玩弄セラレ一國ノ面
目ヲ傷害シテ殆トト國家百年ノ大計ヲ誤マラン
非レバハ必ズシテ意外ノ事ニハ非ルナリ夫レ内閣ノ
失策タル已ニ天下ニ暴白セシテ然リ如シ陛下

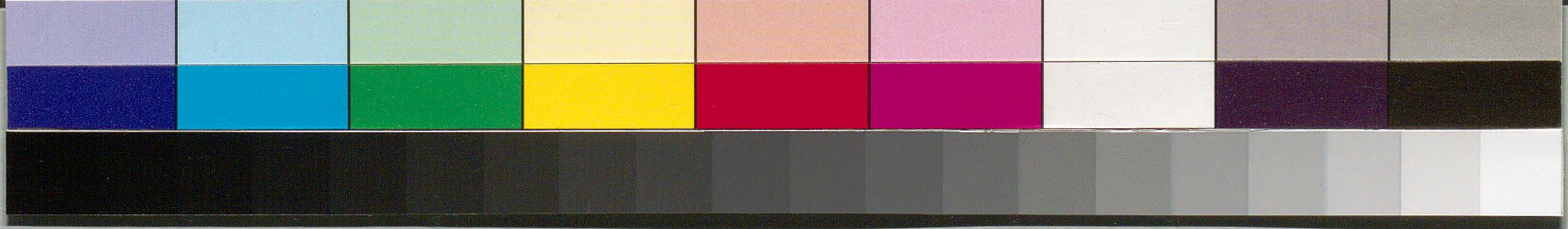


ノ宏量ナル天ノ如ク海ノ如ク務メテ群臣ノ過失ヲ
寛容ル給フト者凡内外ニ信用ナキ大臣ヲシテ後
夕一日モ其職ニ在ラズ可ラサルナリ且ソ往ニ國家政
洲立憲政体ノ諸國ニ効ヒ凡ソ重要ナル内政外交ニ
関ヒテ各大臣皆連帶ノ責任ヲ負フニ至リタルナリ
内外人民ノ明認スル所ニシテ即チ明治十八年五月
三條大政大臣ノ奏議ニ於テ内閣ノ組織ヲ論スルヤ各
部宰臣均ク其責ニ任ズルノ言アリ而テ 陛下下之レ
ヲ嘉納シ給ヒ以テ現内閣ヲ組成セリ然ルニ現内閣
ノ國家ノ大事ニ関シ一大失策アルニ及ヒ專ラ責ヲ一大臣

ニ歸シテ己ハ則チ靦然トシテ其職ヲ守レリ是レ條理
ノ於テ決テ許ス可カラサル所ナリ假令ヒ全權委員
ニ於テ一二專断ノ迹アリシモ其會議ハ遠ク万里ノ外
ニ在リテ舉行セシ所非スニテ一切談判ノ記事ハ即日
以テ内閣ニ呈出シテ各大臣ノ検閲ニ供セシナラシ果
シテ然ラハ一省ノ雇人タル外臣ノ忠告ニ因リテ初メ
テ其專断失策ヲ覺知タリト謂フカ如キハ是レ直
チ三國ノ大事ヲ度外ニ置キタルナリヲ証スル者ニシ
テ茲ニ以テ衆大臣放慢ノ罪ヲ重スルニ過キサル
ノニ若シ柱々一歩ヲ譲リ他ノ大臣ハ各部ヲ分

擔スルニ因リ外交上ニ関シ直々ニ責ヲ受ケルヲ無
キヲ以テ口實ト為スモ兼テ中外ノ機務ニ當リ金局
ノ平衡ヲ保持スルヲ以テ職掌ト為ス所ノ總理大
臣ニ至テハ陛下ニ對シ國民ニ對シ外國ニ對シ凡ソ
條約會議ニ係ル所ノ失策ニ於テ決テ其責ヲ免ク
ル能ハサルナリナリナリナリナリナリナリナリナリ
臣ノ聞ク所ニ由レハ近時政未諸國ニ在リ凡ソ内
外ノ政ニ於テ一タヒ誤リ有ルハ其事未タ必スレハ
國家ノ安危ニ繫ルニ至ラサルモ内閣大臣ハ皆自ラ
咎ヲ引キ責ヲ負ヒ時共ニ其職ヲ退クノ是レ其常

例ナリ此ノ如クナラザレバ以テ交際諸國ノ信ヲ得可ク
ス以テ人民ノ憤ヲ洩ラズ可ラサルヲ以テ今我カ内閣
大臣ノ國家ハ大計ヲ錯マリ外人ノ信用ヲ失ヒタル所前
ニ述フル所ノ如クナルヲ以テ新ニ内閣ヲ置キ別ニ人物ヲ
得テ以テ再ヒ談判ヲ開クモ尚ホ後圖ノ困難ニシテ容
易ニ我國權ヲ擴張ス可カラサルヲ自覚フ然ルヲ一々ヒ
處分ヲ誤リタル現内閣大臣ヲシテ再々外交ノ衝ニ
當ラシメ以テ効ヲ奏スルコトヲ望ムコトハ臣ノ決テ信ス
ル能ハサル所ナリ我國民ハ是レヲ現内閣ノ政策
ニ付テ常ニ不平ヲ懷ケリ今ヤ條約改正會議ノ始未



ヲ傳聞スルニ及ラ、慷慨切齒セサル者ナク、全國一時ニ激
動スルノ勢アリ、此ノ如ク民心ヲ失ヒタル諸大臣ヲシテ、猶ホ
職ニ在ラシメ、以テ内治ノ績ヲ養フル、一ヲ望ム、是レ
亦臣ト決シテ信スル能ハル所ナリ、陛下猶ホ覺悟セ
ズ、現内閣大臣ニ委任シテ、疑ハサル所ハ、彼輩ノ後來ニ
施設スル所ノ者知ルヘキナリ、外ハ卑屈姑息ノ計ニ徇ヒ
務メテ、外國ニ諂諛シ、我國ノ體面ヲ汚損シ、我國ノ性
立ヲ失ヒタルヲ顧ミズ、内ハ陛下ノ威權ニ憑藉シ
テ、專ラ人民ヲ壓抑シ、其憤怒ヲ激シテ、已レハ則テ游移
粉塗シテ、專ラ天下ノ攻撃ヲ避ケル、一ヲ求メ、彼輩

職ニ拠リ、禄ヲ利スルニ於テ、復タ他策ナケレバナリ、故
如クナリ、世ノ外ニシテ、諸強國ノ強迫ヲ受ケ、之ヲ内
ニ世テ、民心ノ瓦解ヲ致シ、凡ソ陛下ノ先帝ノ遺
志ヲ継イテ、成就シ給ヘル中興ノ大業、遂ニ湮滅シ
帰スルニ至ラズ、祖宗三千餘年ノ社稷ヲ如何セ
シ、此日本帝國ヲ如何セシ、此三千七百万ノ蒼生ヲ如何
セシ、故ニ臣ハ今日内閣ヲ易置ヲ除キ、他ニ國家ノ危
急ヲ濟スル道ナキヲ見ルナリ、
推テ、現内閣大臣等ハ、内閣ヲ易置ヲ以テ、直ニ國家
ノ秩序ヲ變更スルノ革命ト同一視シ、其言ヲ誇大ニシ

テ以テ、陛下ヲ榮感スルナラン、然レ臣内閣ノ易置、
決シテ此ノ如キ危險ノ計ニ非ス且ツ陛下ノ英ニ
危ヲ共ニスル所ハ内閣ニ在リト為ス手將テ國民ニ
在リト為ス手、陛下枉ケテ現内閣ヲ保テ以テ
國民ノ憤怒ヲ買フ所ニ是レ正ニ危險ノ計ナリ、
陛下一ツヒ聖衷ヲ斷シ現今朝ニ在ルト野ニ在ルト
ヲ向テ素ヲ幹議ノ名有リテ陛下ノ信用ニ結
テ者ニ人ヲ宮中ニ召シ命ナルニ内閣組織ヲ以テス
ル中ノ政治ノ面目ヲ一新スルヲ特ニ朝夕ノ業ニ過テ
サル、此ノ如クニシテ而テ現内閣ノ失敗ヲ臣正シテ

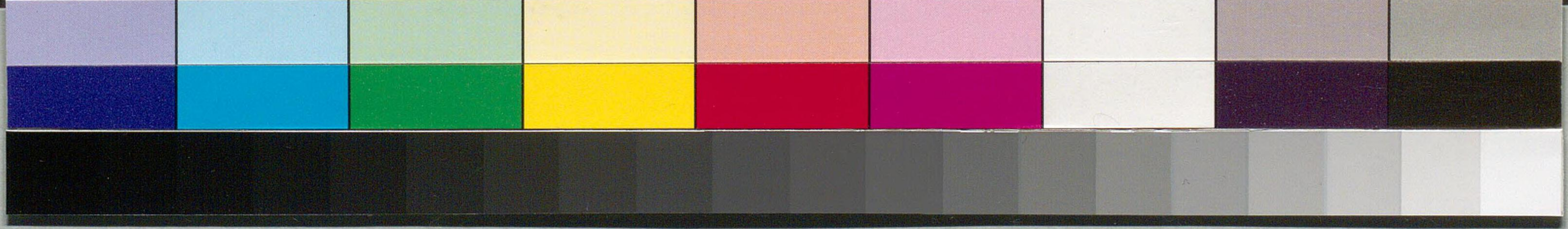
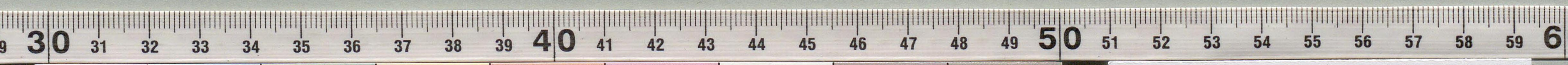
再ニ條約改正ノ會議ヲ開設カレテ得テ始メ天下
ニ磅礴スル不平ノ氣ヲ散シテ穩カニ内政ヲ整頓
スルヲ得レ苟ニ然ラザレバ我日本帝國異日潰決横
流シテ或ハ禍ヲ皇室ニ延クニ至ルニ未タ知ル可
カラス臣何ゾ尊嚴ヲ冒カレ流涕シテ之レヲ
陛下ニ上奏セサルヲ得ニヤ、其内閣大臣ノ
然レ臣内閣大臣等ハ一身ノ利害感ヲテ國家ノ大
計ヲ忘レ臣ノ此言アルヲ聞ケハ必ス百方口實ヲ設
テ自カラ辨解シ臣ヲ以テ妄リニ現内閣ヲ詭証スル
者ト為サン、陛下若シ曲直ノ在ル所ヲ疑ヒ然ハ、

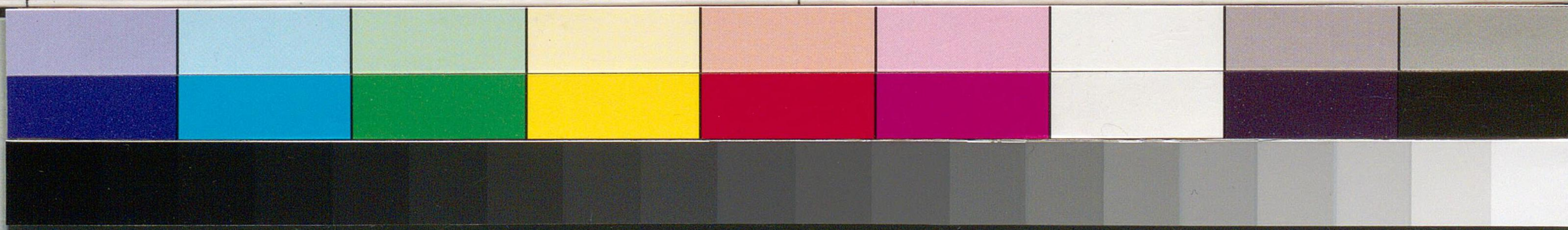
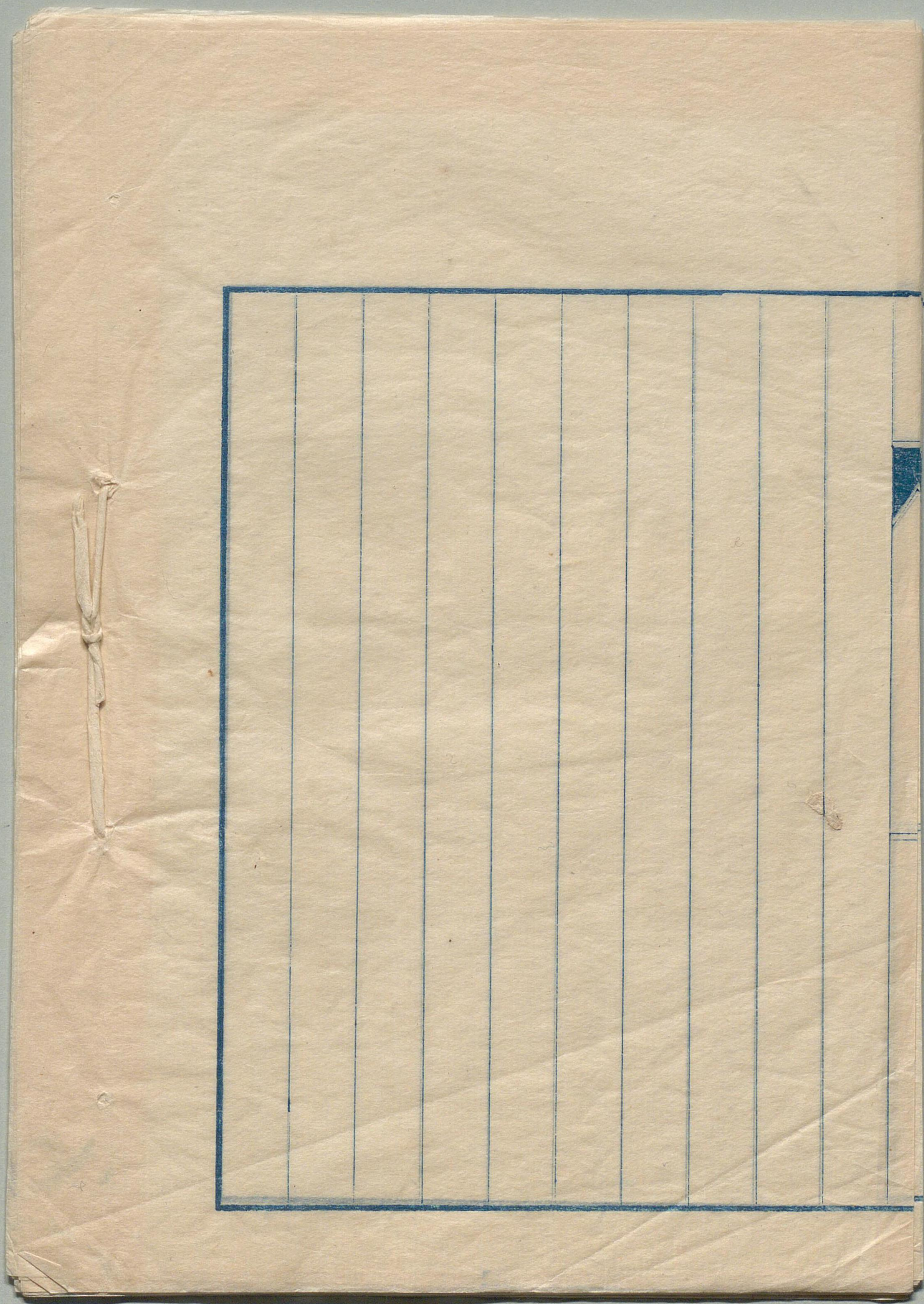
幸ニ在廷ノ群臣中有テ其ヲ内閣大臣ニ通セシメテ
夙ニ忠鞭ノ聞ハアル者ヲ御前ニ召シテ之トニ質スニ臣ノ
言ヲ以テ之給ハシテ陛下必ス臣カ言ノ妄ナラサルヲ察セ
テ陛下尚猶ホ疑ヒ給ハ所存ヲハ試ニ詔ヲ下タシ
テ大ニ天下ノ忠言ヲ求メ給ハ其内閣大臣ヲ駁撃
スルノ上書ハ玉案ノ上ニ堆積スルニ至ラシ然レモ
陛下ノ聖明ナル豈ニ此ヲ察スルコト無ラシヤ臣固ヨリ
陛下ノ疾メニ内閣大臣ノ其職ニ堪ハサルヲ知リ方サニ
其英断ヲ出シ給フコトヲ知ルナリ然レモ玉案ノ上ニ
臣ハ終リニ臨ンテ更ニ一言ハ其ル可カラサル者ナリ現内

閣大臣ハ大率皆維新ノ前後ニ於テ臣ト俱ニ國事ニ奔
走シ若クハ同ク廟堂ノ上ニ立テタルモノニシテ臣今
陛下ニ向テ公然其咎ヲ責ムルニ於テハ私情實ニ忍ビ難
キ者アリ然レモ彼輩既已ニ輿論ノ攻撃ヲ蒙ルリ猶ホ
其職ヲ守ルルハ帝々天下ヲ誤ルノヒナラス災必ス其身
ニ逮ハシ故ニ今ニ及テ之ヲ胡地ニ居キ自ラ洗磨スルコトヲ
得セシムルハ亦陛下大臣ヲ優遇スルノ道ヲ得タリ
ト為ス所以ナリ臣何リ盡言ヲ憚カケンヤ臣ハ内外ノ
政務ニ就キ陛下ニ陳述セシト欲スル所共ニ止マラ
ズ但今日國家ノ大事ト称ス可キ者ハ條約改正會

議ノ始末ニ過クルハ莫ク今日 陛下ノ英断ヲ要
スル者ハ内閣大臣ノ易置ヨリ急ナルハ莫シ故ニ枉愚
ヲ憚ラズ敢テ誓言ヲ上ルヨリ此ノ如シ臣象次郎誠
恐誠惶頓首 陛下大皇ヲ尊奉スルハ臣ノ職ニ
ニ盡シテ此ノ如シハ臣ノ職ニ盡スルハ臣ノ職ニ
其職ヲ尽シテ此ノ如シハ臣ノ職ニ盡スルハ臣ノ職ニ
ナリトシテ此ノ如シハ臣ノ職ニ盡スルハ臣ノ職ニ
臣ノ職ニ盡スルハ臣ノ職ニ盡スルハ臣ノ職ニ
臣ノ職ニ盡スルハ臣ノ職ニ盡スルハ臣ノ職ニ

[Blank lined area]





国立国会図書館 尾崎三良関係文書 133